

# カナリヤ通信



第36号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で遅く、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

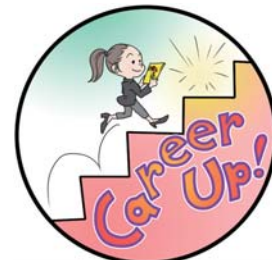
～働き方について考え、気づく～

女性リーダー(管理職・役員)

今回は11月21日付、創刊3周年特集号です。

## 女性の特性生かしたリーダーに

女性のリーダー(管理職・役員)は少しずつ増えているものの、男性との比率でみるとまだわずかに少ない。しかし、女性の活躍をより推進するためにも、組織として育成していかなくてはなりません。2015年に施行された女性活躍推進法では、女性管理職の比率を上げるこ



が求められており、企業にとっても育成は喫緊の課題となっています。男社会といわれる建設産業界で女性の活躍を最大限に生かし、企業を活性化させるか、そのために何に取り組むべきなのか、今回は、「女性のリーダー育成論」について、考えてみました。



エグゼクティブ・マネジメント研究所 中央大学戦略経営アカデミーフェロー

竹内 清之氏

### ■女性を取り巻く現状

複数の男性の中で女性が自己紹介する場、男社会で認められるような発言、話し方をします。しかし、女性だけの集まり、集団では自由のびのびと発言しています。これは、女性が組織の中で働く場合、いまま

で築き上げてきた男社会のルール・慣習に合わせなくてはならないことを意味します。女性は今なお、男社会に合わせ仕事をしています。逆に、男性は女性の集団の中で仕事をしてみれば違う社会、構造であることに気付くかもしれません。女性も組織の中で働く場合、いまま

## 社会全体の意識改革が必要

### ①女性と男性のリーダー像

女性＝共感性、調和性、ビジョン、コミュニケーション能力  
男性＝ぶれない、ビジョン、決断力、コミュニケーション能力

### ②女性がリーダーになるために必要なこと

×男性と同じことをする  
↓  
○女性の特性を生かした役割を担う

事が進めやすくなります。しかし、二の足を踏んでいた女性は、一度決断したら揺るぐことがありません。決めたらしっかりと仕事を遂行するというまじめさゆえかもしれません。一方、男性は判断しても周囲の情勢を見て揺らぐ場合があります。そもそも歴史的に見て男性と女性の役割は違います。男性は武士の世界では主君(殿様)のために働いていました。主君をトップにピラミッド構造が形成され、それぞれの立場で仕事をしていたのです。女性は真方として、夫を支え、家を守り、子を育ててきました。いわゆる男性は付度(そんたく)社会で生き、女性は自分自身と家庭を守る保守で生きてきました。

「男性と同じことをする」ということではありません。女性の特性を生かしたリーダーとしての役割を担えば良いと思います。そうすることで、男性の良い部分と女性の良い部分を生かした企業内の組織構造ができ、生産性が向上すると考えられます。そのためには、いままでの男社会の考え方を払拭し新たな組織構造を作り上げるために、男性と女性が同じレベルに座り、一度、皆で方向性を考えるべきだと思います。女性が活躍できる環境を、男性だけで考えてはいけません。女性の考えもしっかりと入れ込んだシステム・インフラをつくり上げるべきだと思います。先ほどの武士社会のピラミッド構造に女性の家を守るための共感性や調和性という考え方を入れているべきだと思います。

「男性と同じことをする」ということではありません。女性の特性を生かしたリーダーとしての役割を担えば良いと思います。そうすることで、男性の良い部分と女性の良い部分を生かした企業内の組織構造ができ、生産性が向上すると考えられます。そのためには、いままでの男社会の考え方を払拭し新たな組織構造を作り上げるために、男性と女性が同じレベルに座り、一度、皆で方向性を考えるべきだと思います。女性が活躍できる環境を、男性だけで考えてはいけません。女性の考えもしっかりと入れ込んだシステム・インフラをつくり上げるべきだと思います。先ほどの武士社会のピラミッド構造に女性の家を守るための共感性や調和性という考え方を入れているべきだと思います。

理想のリーダー像として、男性は、ぶれない、ビジョン、決断力、コミュニケーション能力とされています。一方、女性は、共感性、調和性、ビジョン、コミュニケーション能力とされています。求められる要素が男性と女性では違うということが分かります。女性の場合、共感性や調和性は女性特有のもので、コミュニケーション能力を併せ持つと、周りを気遣いながら仕事ができるので、例えば現場作業でも、女性が活躍する場が和み円滑に仕事が進むなどよく耳にします。そういった細やかな配慮ができるからこそ、仕事の効率を上げることが可能となってきます。一方、女性に足りない部分の傾向として挙げられるのが決断力です。どうしても共感性や調和性の傾向でリスクに対する責任への負担が大きいとされます。男性は決断を迫られると即座に判断しますので、仕事を進める上で部下は仕

女性はその枠の中で責任を持ってしっかりと仕事をやる傾向があります。そういった点も歴史の中からひもつかったものだと思います。企業だけでなく社会を変える。女性リーダーになるために必要なことは、女性が活躍する組織とは

### ■リーダーになりたくない理由

リーダー(管理職・役員)になりたくない女性が多いです。理由としては、①育児や家庭、介護といったライフイベント②実務に携わっていた責任を取りたくない③男社会の中でリーダーを志すことがない、などといったことです。これは、若い男性でも同じことを行います。しかし、男性だけでは仕事が進まなくなり、少子高齢化が進みます。女性の労働力なしでは仕事が進みません。

### ■男女の特長は歴史にひもつく

理想のリーダー像として、男性は、ぶれない、ビジョン、決断力、コミュニケーション能力とされています。一方、女性は、共感性、調和性、ビジョン、コミュニケーション能力とされています。求められる要素が男性と女性では違うということが分かります。女性の場合、共感性や調和性は女性特有のもので、コミュニケーション能力を併せ持つと、周りを気遣いながら仕事ができるので、例えば現場作業でも、女性が活躍する場が和み円滑に仕事が進むなどよく耳にします。そういった細やかな配慮ができるからこそ、仕事の効率を上げることが可能となってきます。一方、女性に足りない部分の傾向として挙げられるのが決断力です。どうしても共感性や調和性の傾向でリスクに対する責任への負担が大きいとされます。男性は決断を迫られると即座に判断しますので、仕事を進める上で部下は仕

### ■企業だけでなく社会を変える

今後、女性リーダーを育成するためには何をすべきか、それには社会を変え企業が変わらなくてはならないと思います。往々にして、家事・育児・介護など仕事以外の女性の負担率は男性に比べて格段に多くあります。しかし、その考え方や行動を変えていかなくてはなりません。ライフイベントで考えている以上、家庭での作業を平等にわける必要があり、出先での作業を平等にわける必要があると思います。また、子どもが小さいときから家庭での役割分担について平等であるという教育が必要になってきます。今、20歳代の男性は母が働いているのが多いため、奥さんと分担するのが当たり前になりつつあります。そういった世代が、企業の中核になれば、社会全体が変わっていくと思えます。そのためには、10年から15年かかるかもしれないので、社会全体で意識改革を押し進めていく必要があると思います。

### ■女性が活躍する組織とは

女性がリーダーになるために必要なことは、女性が活躍する組織とは

## チューリップと春を待つ

佐藤工業



東京・臨海副都心チューリップフェスティバル

すっかり秋ですね。風景も徐々に緑から黄色や茶色に変化して、間もなく落葉の季節がやってきます。しかし、土の中や木々たちは着々と春に向けて準備をしています。来年の春、暖かくなってきたら、元気に芽吹き花開く。待ち遠しいですね。今回、ご紹介するのは、佐藤工業が毎年、皆さまに真心を込めてお届けしているチューリップの球根です。富山で育った球根は全部で4種類(4色)。10-11月ごろに植えると春には見事な花を咲かせ、わたしたちを楽しませてくれます。地植えでもプランターでもOK。マンション住まいの方は、ベランダの片隅に素敵な鉢を置いて育てればいつでも美しく可愛い花をみることが出来ます。これから寒い冬を迎えますが、暖かくなったところを想像して楽しみに植えてみてはいかがでしょうか。今回は、お客さまや近隣の小学校・幼稚園などへお届けしている球根を、カナリヤ通信の読者にプレゼントしてくれま

した。 \* (4種類×6球) ◇10名様にプレゼント プレゼント希望の方は、住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部へメールかウェブからご応募下さい。締め切りは10月29日(月)です。



## 我日々 学徒なり



神奈川大学工学部 物質生命化学科特別助教 齋藤 美和さん

所属している機能性セラミックス研究室では、「エネルギー・環境問題をセラミックスで解決しよう!」をテーマに学生21人とともに日々研究活動を行っています。セラミックスは陶磁器をはじめ、ガラス・セメント・電子部品など、生活に欠かせない、三大材料(金属・セラミックス・有機材料)の1つです。いま、取り組んでいるのは、そのセラミックスの結晶構造に、あえて欠陥を取り入れ、電気を流れやすくした材料の開発です。「欠陥」というイメージが良くないかもしれませんが、結晶化学の世界では、この「欠陥」が非常に重要なキーワ

ードになってきます。「欠陥があるからこそおもしろい」。これはセラミックスの世界でも教育・研究の世界でも同じではないかと思えます。欠陥のない人間はいないし、足りないところがあるから学び、自分がないものを持つ人に興味を抱くのだと思います。教員として学生に教えるだけでなく、学生とともに学び、時には学生から学ぶことが私の仕事スタイルです。人間は一生学ぶことが尽きない。うまくいかないときこそ、いまの欠陥だらけの自分を卑下するだけでなく、さらに学び成長するモチベーションに変換することが成果につながると思っています。

お問い合わせ 株式会社日刊建設通信新聞社 カナリヤ通信編集部 TEL03-3259-8711 FAX03-3259-8730

ご意見・ご感想、プレゼントの応募は canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。 「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。

